

# 平成27年度 財政状況資料集

## 総括表 (市町村)

都道府県名	山形県		市町村類型	II - 1	指定団体等の指定状況		区分		平成27年度(千円)		平成26年度(千円)		区分		平成27年度(千円・%)	平成26年度(千円・%)							
					財政健全化等	×	歳入総額	7,396,263	7,388,440	実質収支比率	7.9	6.8											
市町村名	飯豊町		地方交付税種地	2-2	財源超過	×	歳入歳出差引	361,738	310,019	(※1)	( 87.0 )	( 90.3 )	82.7	85.5									
					首都	×	翌年度に繰越すべき財源	57,273	50,427	標準財政規模	3,840,080	3,837,446											
					近畿	×	実質収支	304,465	259,592	財政力指数	0.19	0.18											
					中部	×	単年度収支	44,873	-20,253	公債費負担比率	14.3	15.7											
人口	27年国調(人)	7,304	産業構造(※5)		過疎	○	積立金	1,547	2,157	健全化判断比率													
	22年国調(人)	7,943			山振	○	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-											
	増減率(%)	-8.0			低開発	×	積立金取崩し額	100,000	140,000	連結実質赤字比率	-	-											
住民基本台帳人口(※7)	28.01.01(人)	7,553	第1次	22年国調	698	17年国調	828	指数表選定	○	実質単年度収支	-53,580	-158,096	実質公債費比率	7.3	8.6								
	うち日本人(人)	7,502		16.9	18.4	基準財政収入額	648,462	647,068	資金不足比率(※4)														
	27.01.01(人)	7,688	第2次	1,556	1,740	基準財政需要額	3,497,949	3,469,573	地方債現在高	7,087,209	6,288,183	うち公的資金	6,457,700	5,776,245									
	うち日本人(人)	7,634		37.8	38.6	標準税収入額等	796,657	810,825		債務負担行為額(支出予定額)	1,383,290		960,541										
	増減率(%)	-1.8	第3次	1,865	1,939	経常経費充当一般財源等	3,238,033	3,290,669		収益事業収入	-		-	土地開発基金現在高	171,028	170,708							
	うち日本人(%)	-1.7		45.3	43.0	歳入一般財源等	4,716,212	4,680,763		財政調整基金	1,251,305		1,219,758	積立金現在高	341,717	244,814							
	面積(km <sup>2</sup> )	329.41		ラスパイレシ指数	98.9	減債基金	1,130,235	1,139,035		その他特定目的基金													
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	22	職員状況																					
世帯数(世帯)	2,198	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)		1人あたり平均給料月額(百円)													
										特別職等	市区町村長	1	8,100	一般職員	98	318,402	3,249						
											副市区町村長	1	6,100	うち消防職員	-	-	-						
											教育長	1	5,400	うち技能労務職員	3	10,035	3,345						
											議会議長	1	3,100	教育公務員	8	27,416	3,427						
											議会副議長	1	2,500	臨時職員	-	-	-						
											議会議員	8	2,300	合計	106	345,818	3,262						
										一般会計等の一覧													
項番		会計名		事業会計の一覧		公営企業(法通)の一覧		公営企業(法非通)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧											
(1) 一般会計				(2) 国民健康保険特別会計		(7) 水道事業会計		(8) 農業集排水事業特別会計		(10) 置賜広域行政事務組合		(19) 飯豊町産業開発公社											
				(3) 介護保険特別会計				(9) 生活排水個別処理事業特別会計		(11) 置賜広域病院組合		(20) 緑のふるさと公社											
				(4) 後期高齢者医療特別会計						(12) 西置賜行政組合		(21) 山形県西置賜郡飯豊町土地開発公社											
				(5) 訪問看護特別会計						(13) 山形県消防補償等組合		(22) どんでん平ゆり園											
				(6) 介護老人保健施設特別会計						(14) 山形県自治会館管理組合		(23) エコプラントめざみ											
										(15) 山形県市町村交通災害共済組合		(24) エルベ											
										(16) 山形県市町村職員退職手当組合		(25) 飯豊めざみの里											
										(17) 山形県後期高齢者医療広域連合(普通会計分)		(26) 飯豊ながめやま牧場											
										(18) 山形県後期高齢者医療広域連合(事業会計分)													

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比
地方税	622,307	8.4	622,307	16.7
地方譲与税	74,942	1.0	74,942	2.0
利子割交付金	1,213	0.0	1,213	0.0
配当割交付金	2,197	0.0	2,197	0.1
株式等譲渡所得割交付金	1,795	0.0	1,795	0.0
地方消費税交付金	136,369	1.8	136,369	3.7
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	13,313	0.2	13,313	0.4
軽油引取税交付金	-	-	-	-
地方特例交付金	2,612	0.0	2,612	0.1
地方交付税	3,152,826	42.6	2,851,452	76.6
普通交付税	2,851,452	38.6	2,851,452	76.6
特別交付税	301,374	4.1	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-
(一般財源計)	4,007,574	54.2	3,706,200	99.5
交通安全対策特別交付金	1,520	0.0	1,520	0.0
分担金・負担金	84,039	1.1	25	0.0
使用料	109,696	1.5	9,704	0.3
手数料	5,926	0.1	32	0.0
国庫支出金	577,762	7.8	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-
都道府県支出金	507,253	6.9	-	-
財産収入	21,647	0.3	5,558	0.1
寄附金	171,189	2.3	-	-
繰入金	212,258	2.9	-	-
繰越金	180,019	2.4	-	-
諸収入	98,280	1.3	508	0.0
地方債	1,419,100	19.2	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	191,900	2.6	-	-
歳入合計	7,396,263	100.0	3,723,547	100.0

地方税の状況 (単位 千円・%)						
区分	収入済額	構成比	超過課税分			
普通税	607,857	97.7	2,477	-	-	-
法定普通税	607,857	97.7	2,477	-	-	-
市町村民税	253,170	40.7	2,477	-	-	-
個人均等割	12,137	2.0	-	-	-	-
所得割	203,820	32.8	-	-	-	-
法人均等割	11,897	1.9	-	-	-	-
法人税割	25,316	4.1	2,477	-	-	-
固定資産税	298,998	48.0	-	-	-	-
うち純固定資産税	291,701	46.9	-	-	-	-
軽自動車税	22,544	3.6	-	-	-	-
市町村たばこ税	32,920	5.3	-	-	-	-
鉱産税	225	0.0	-	-	-	-
特別土地保有税	-	-	-	-	-	-
法定外普通税	-	-	-	-	-	-
目的税	14,450	2.3	-	-	-	-
法定目的税	14,450	2.3	-	-	-	-
入湯税	14,450	2.3	-	-	-	-
事業所税	-	-	-	-	-	-
都市計画税	-	-	-	-	-	-
水利地益税等	-	-	-	-	-	-
法定外目的税	-	-	-	-	-	-
旧法による税	-	-	-	-	-	-
合計	622,307	100.0	2,477	-	-	-
区分	平成27年度	平成26年度				
徴収率 (%)	現・計	合計	98.8	94.9	98.5	94.7
	市町村民税	99.5	97.6	99.2	97.5	
	純固定資産税	98.0	91.7	97.6	91.6	

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況		
合計	766,706	実質収支	50,851	
下水道	248,994	再差引収支	43,242	
介護サービス	120,000	加入世帯数(世帯)	959	
上水道	43,170	被保険者数(人)	1,677	
病院	20,951	被保険者 1人当り	保険税(料)収入額	75
国民健康保険	118,642		国庫支出金	104
その他	214,949		保険給付費	277

歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	79,297	1.1	-	79,293
総務費	985,936	14.0	10,362	873,119
民生費	1,198,249	17.0	16,053	806,844
衛生費	247,119	3.5	1,413	232,983
労働費	18,152	0.3	-	1,252
農林水産業費	935,111	13.3	255,424	501,231
商工費	892,047	12.7	660,463	180,778
土木費	519,214	7.4	279,063	225,263
消防費	200,788	2.9	1,744	200,526
教育費	1,236,852	17.6	705,883	563,284
災害復旧費	44,705	0.6	-	17,639
公債費	677,055	9.6	-	672,262
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	7,034,525	100.0	1,930,405	4,354,474

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2,026,731	28.8	1,660,303	1,613,272	41.2
人件費	922,138	13.1	828,325	824,643	21.1
うち職員給	564,306	8.0	485,091	-	-
扶助費	427,538	6.1	159,716	116,367	3.0
公債費	677,055	9.6	672,262	672,262	17.2
元利償還金	677,055	9.6	672,262	672,262	17.2
うち元金	620,074	8.8	615,736	615,736	15.7
うち利子	56,981	0.8	56,526	56,526	1.4
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	3,032,684	43.1	2,363,818	1,624,761	41.5
物件費	808,729	11.5	599,576	482,162	12.3
維持補修費	228,203	3.2	169,994	169,994	4.3
補助費等	1,094,078	15.6	800,165	679,922	17.4
うち一部事務組合負担金	321,354	4.6	321,354	309,719	7.9
繰出金	702,585	10.0	629,738	292,683	7.5
積立金	184,089	2.6	164,345	-	-
投資・出資金・貸付金	15,000	0.2	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,975,110	28.1	330,353	-	-
うち人件費	52,096	0.7	52,096	-	-
普通建設事業費	1,930,405	27.4	312,714	-	-
うち補助	762,236	10.8	44,962	-	-
うち単独	1,132,278	16.1	261,293	-	-
災害復旧事業費	44,705	0.6	17,639	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	7,034,525	100.0	4,354,474	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成27年度 山形県飯沼町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	7,396	7,035	362	304	212	7,087	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成27年度

山形県飯豊町

人口	7,553	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	7,502	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	329.41	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.3	%
歳入総額	7,396,263	千円	将来負担比率	33.5	%
歳出総額	7,034,525	千円			
実質収支	304,465	千円	市町村類型	H23 II-1 H24 II-1 H25 II-1	
標準財政規模	3,840,080	千円	(年度毎)	H26 II-1 H27 II-1	
地方債現在高	7,087,209	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

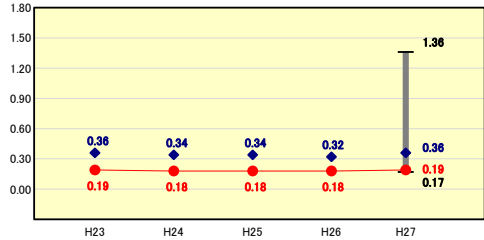
#### 財政力

類似団体内順位 64/72 全国平均 0.50 山形県平均 0.34

##### 財政力指数の分析欄

前年度を0.01ポイント上回る0.19ポイントとなったが、依然として類似団体平均を大きく下回っている。人口の減少や全国平均を上回る高齢化率に加え、町内に中核となる産業がないことにより財政基盤が脆弱である。積極的な企業誘致の推進を始め、退職者不補充等による職員数の削減による人件費の削減、緊急に必要な事業の峻別など歳出の徹底的な見直しを行い、活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより財政の健全化を図る。

#### 財政力指数 [0.19]



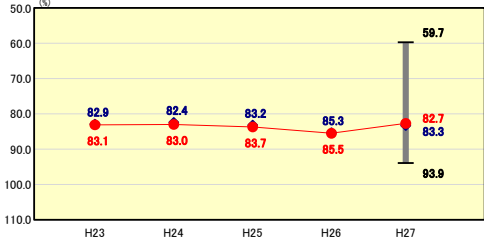
#### 財政構造の弾力性

類似団体内順位 35/72 全国平均 90.0 山形県平均 88.2

##### 経常収支比率の分析欄

多面的機能支払い交付金などの増加に伴い補助費等が増加したものの、例年より降雪量が少なかった為、維持補修費(除雪経費)が減少したことや、平成19年度から実施した高利率の地方債の借換等により公債費の削減(42百万円削減)により、類似団体平均を若干下回る82.7ポイントとなった。  
 しかし、人件費に係るものが21.1%前後と比較的高い水準にあるため、職員数の削減や業務効率化による時間外手当等の削減など義務的経費の削減に努め、類似団体平均を上回るように努める。

#### 経常収支比率 [82.7%]



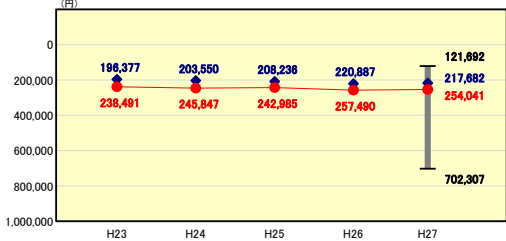
#### 人件費・物件費等の状況

類似団体内順位 56/72 全国平均 121,920 山形県平均 133,231

##### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費、物件費等の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を大きく上回っているのは、主に人件費が要因となっている。これは主に保育園や幼稚園などの施設運営を直営で行っているためである。  
 今後は、幼児施設の統廃合や民間でも実施可能な事業については、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コストの低減を図るように努めていく必要がある。

#### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [254,041円]



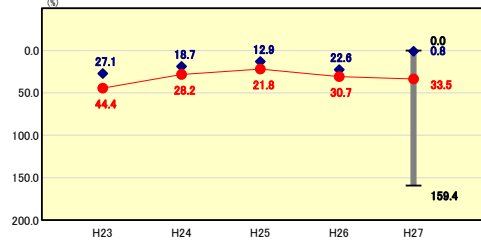
#### 将来負担の状況

類似団体内順位 43/72 全国平均 38.9 山形県平均 68.6

##### 将来負担比率の分析欄

将来負担額については、平成26年度から行った小学校改築事業や平成27年度に行った起業支援施設整備事業など大規模事業の実施に伴う起債の発行により地方債の現在高が大幅に増加したことから比率の増加となった。  
 平成28年度も小学校改築事業に伴う起債の発行額が増える為、将来負担比率の増加が予測されるが、後世への負担を少しでも軽減するよう既存事業の見直しや新規事業の実施等について総点検を図り財政の健全化を図る。

#### 将来負担比率 [33.5%]



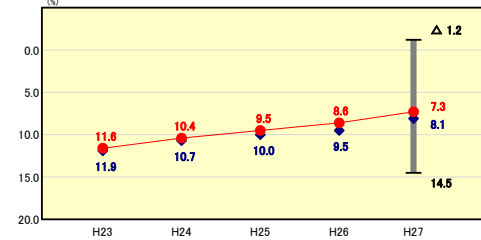
#### 公債費負担の状況

類似団体内順位 28/72 全国平均 7.4 山形県平均 9.5

##### 実質公債費比率の分析欄

普通建設事業費に係る起債の償還終了等に伴い、比率は年々改善し類似団体平均をやや下回っている。  
 地域住民との意見交換を図るとともに適切な事業実施により、類似団体平均の水準で推移できるように、今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

#### 実質公債費比率 [7.3%]



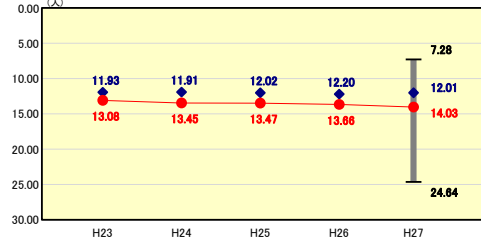
#### 定員管理の状況

類似団体内順位 60/72 全国平均 6.96 山形県平均 7.84

##### 人口千人当たり職員数の分析欄

保育園や幼稚園等の施設を直営で運営していることもあり、類似団体と比較し平均を上回っている。  
 子育て支援サービスを継続しながらも、人件費の削減の目標を達成するために、保育施設の整理統廃合を行い、類似団体平均の水準まで職員数を削減し、適切な定員管理に努める。

#### 人口千人当たり職員数 [14.03人]



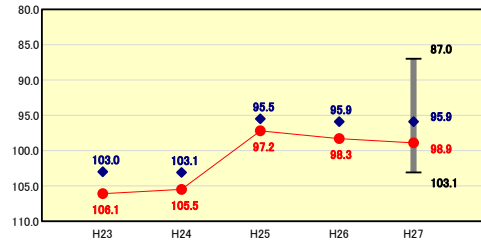
#### 給与水準(国との比較)

類似団体内順位 63/72 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.3

##### ラスパイレス指数の分析欄

平成23年度及び24年度決算は、国家公務員の給与削減が実施されていたことによりラスパイレス指数が100ポイントを超える状況になっていたが、平成25年度は給与減額措置により大幅に減少した。その後、給与減額措置の終了により平成27年度は98.9ポイントと回復している。  
 ラスパイレス指数は、類似団体平均より高い水準にあるため、今後も新規採用の抑制による職員数の削減や適正な人事配置等を進めることにより、給与の適正化等に努める。

#### ラスパイレス指数 [98.9]



# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

山形県飯豊町

## 経常収支比率の分析

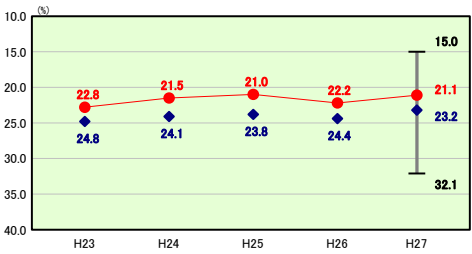
人口	7,553	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	7,502	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	329.41	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.3	%
歳入総額	7,396,263	千円	将来負担比率	33.5	%
歳出総額	7,034,525	千円	市町村類型	H23 II-1 H24 II-1 H25 II-1	
実質収支	304,465	千円	(年度毎)	H26 II-1 H27 II-1	
標準財政規模	3,840,080	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

### 人件費

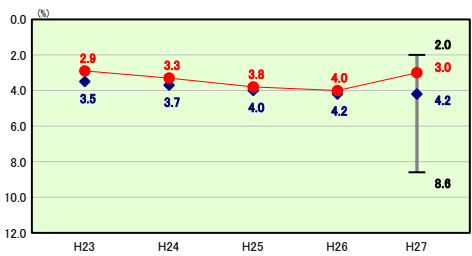
類似団体内順位 14/72 全国平均 23.3 山形県平均 22.6



**人件費の分析欄**  
 人件費に係る経常収支比率は類似団体平均を下回っている。今後も、新規採用職員の抑制による職員数の減など人件費の削減に努める。  
 ただ、物件費に含まれる臨時職員賃金や各特別会計の人件費に充てる繰入金といった人件費に準ずる費用を合計した場合の人口1人あたりの決算額は類似団体平均を上回っており、今後はこれらも含めた人件費関係経費全体について、抑制していく必要

### 扶助費

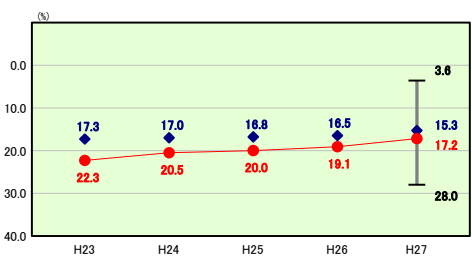
類似団体内順位 15/72 全国平均 11.8 山形県平均 7.8



**扶助費の分析欄**  
 扶助費に係る経常収支比率は、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の交付金額が減ったことなどにより前年度比1.0ポイントの減となっている。  
 今後は、児童手当の減額は見込まれるものの、子育て世帯や高齢者世帯への対応など、扶助費は増加していくものと想定している。

### 公債費

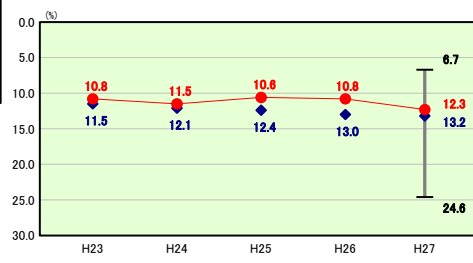
類似団体内順位 55/72 全国平均 17.4 山形県平均 17.6



**公債費の分析欄**  
 平成20年度以降、公債費は着実に減少してきたが、類似団体平均を1.9ポイント上回っている。  
 これまで取り組んだ、小学校改築事業や起業支援施設整備事業などの大規模事業の公債費のピークは、平成32年度となると見込まれる。特に30年度以降は償還額が増加するため非常に厳しい財政運営となることが予想される。

### 物件費

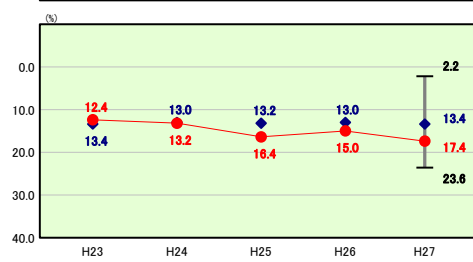
類似団体内順位 29/72 全国平均 14.3 山形県平均 12.3



**物件費の分析欄**  
 物件費に係る経常収支比率は、学校給食共同調理場業務委託(新規)や番号制度対応に伴うシステム改修などの実施に伴い1.5ポイント増加したが、類似団体平均を下回っている。  
 今後も継続して物品の一元管理や事務的経費などの削減に努める。

### 補助費等

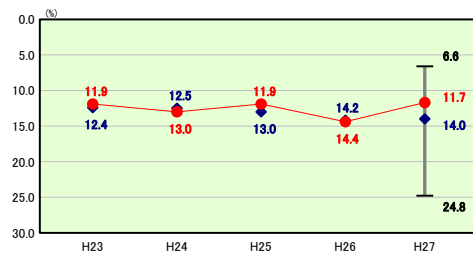
類似団体内順位 60/72 全国平均 10.0 山形県平均 11.0



**補助費等の分析欄**  
 補助費等に係る経常収支比率は、多面的機能支払交付金の増加やふるさと納税に係る返戻品の増加などにより2.4ポイント増加し、類似団体平均より大きく上回っている。  
 今後は、補助金を交付するのが適当な事業かどうか見直しを行い、不適切な補助金の廃止や金額の精査に努めながら、類似団体平均を下回るようにしていく。

### その他

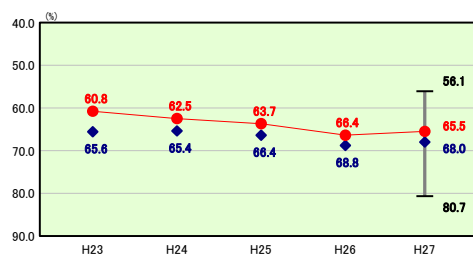
類似団体内順位 21/72 全国平均 13.2 山形県平均 16.9



**その他の分析欄**  
 平成27年度は例年より積雪量が少なく、豪雪だった前年度と比較すると除排雪経費が42.0ポイント減少したことから、その他の経常収支比率は前年より2.7ポイント減少し類似団体平均を下回っている。  
 今後は施設管理経費の増大が見込まれるため、公共施設総合管理計画に基づき計画的な経費の抑制を図っていく。

### 公債費以外

類似団体内順位 23/72 全国平均 72.6 山形県平均 70.6



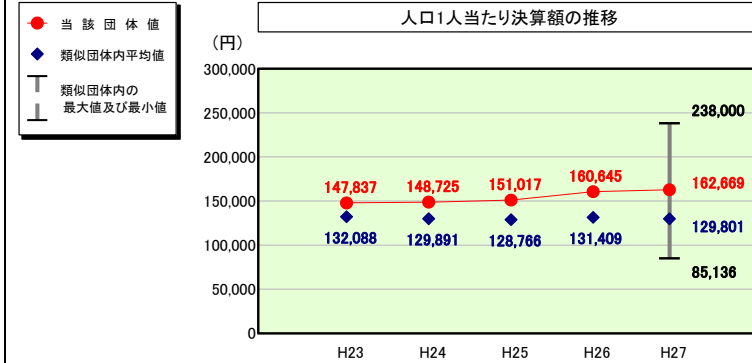
**公債費以外の分析欄**  
 公債費以外の経常収支比率については、類似団体平均と比較して2.5ポイント下回っている状況である。  
 ただ、補助費等やその他(繰入金・維持補修費)で類似団体平均を上回る項目もあるため、行財政改革への取組みを通じて義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

山形県飯豊町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

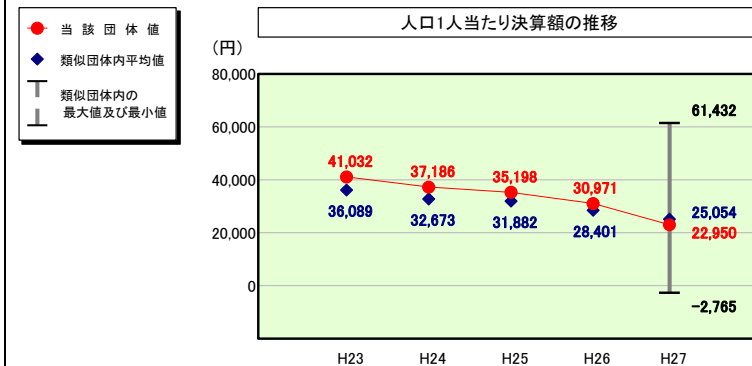
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	922,138	122,089	105,093	16.2
賃金(物件費)	60,100	7,957	11,546	▲31.1
一部事務組合負担金(補助費等)	151,259	20,026	13,382	49.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	▲249	▲33	1,458	▲102.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	135,686	17,965	5,712	214.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	52,096	6,897	2,855	141.6
▲退職金	▲92,393	▲12,233	▲10,245	19.4
合計	1,228,637	162,669	129,801	25.3

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	14.03	12.01	2.02
ラスパイレース指数	98.9	95.9	3.0

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

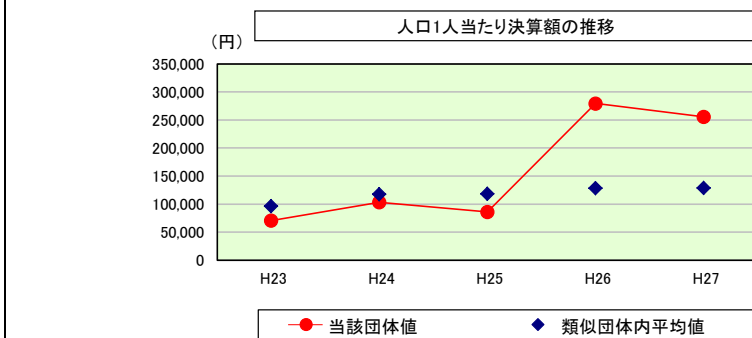


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	677,055	89,641	66,201	35.4
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	221,499	29,326	21,827	34.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	25,217	3,339	5,334	▲37.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	5,013	664	1,051	▲36.8
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	4	-
▲特定財源の額	▲4,793	▲635	▲2,306	▲72.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲750,653	▲99,385	▲67,056	48.2
合計	173,338	22,950	25,054	▲8.4

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H23	566,187	70,535	▲46.8	96,333	▲27.9	▲18.9
うち単独分	398,551	49,651	▲1.9	57,060	▲1.5	▲0.4
H24	821,402	103,256	46.4	117,673	22.2	24.2
うち単独分	416,109	52,308	5.4	62,359	9.3	3.9
H25	677,684	86,099	▲16.6	118,223	0.5	▲17.1
うち単独分	438,078	55,657	6.4	57,106	▲8.4	14.8
H26	2,147,641	279,350	224.5	128,485	8.7	215.8
うち単独分	956,919	124,469	123.6	62,765	9.9	113.7
H27	1,930,405	255,581	▲8.5	128,611	0.1	▲8.6
うち単独分	1,132,278	149,911	20.4	61,552	▲1.9	22.3
過去5年間平均	1,228,664	158,964	39.8	117,865	0.7	39.1
うち単独分	668,387	86,399	30.8	60,168	1.5	29.3

# (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

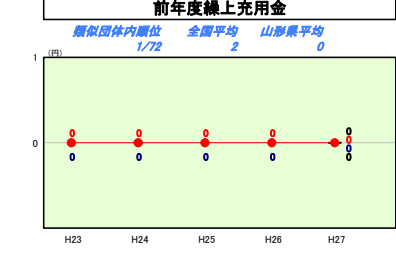
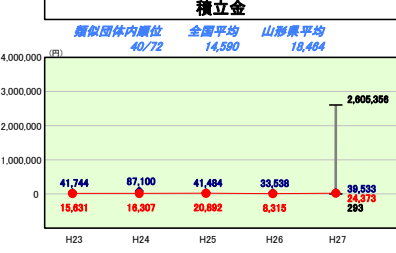
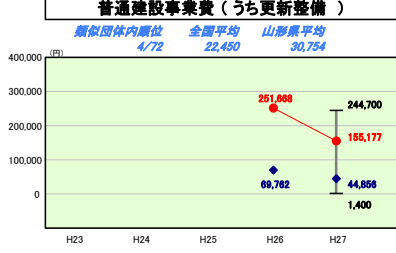
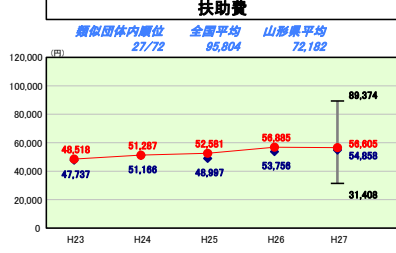
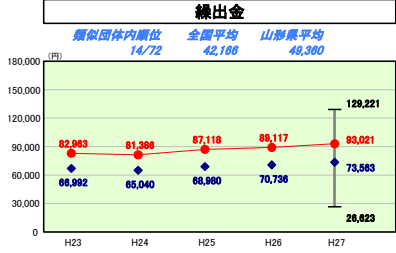
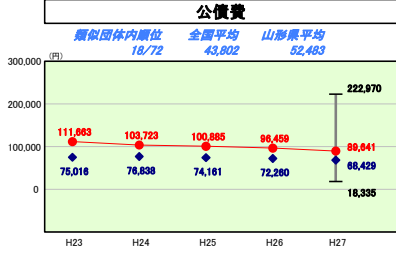
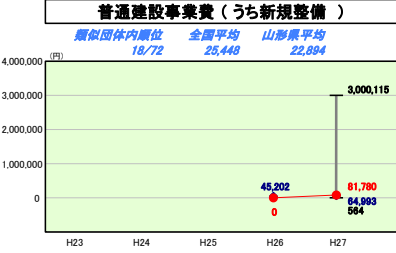
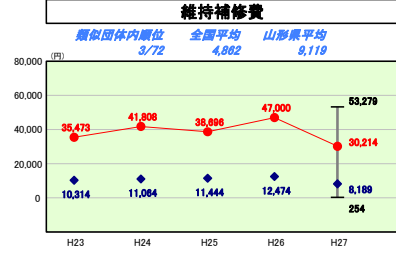
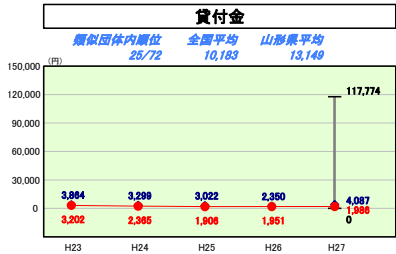
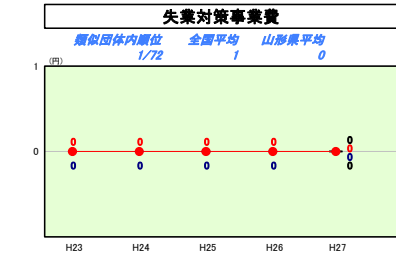
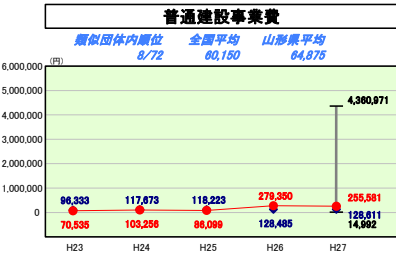
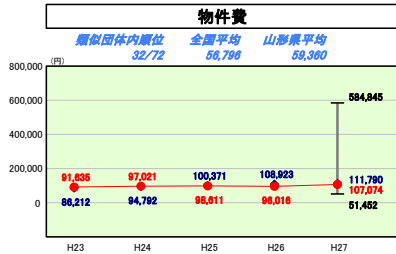
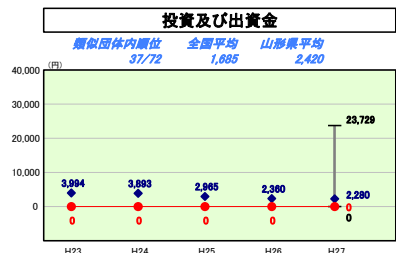
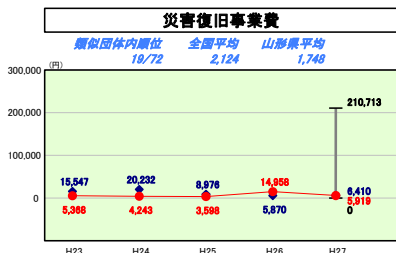
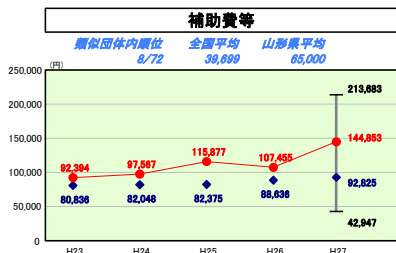
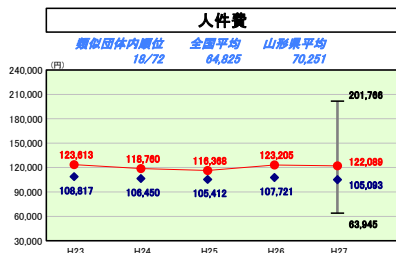
平成27年度

山形県飯豊町

人口	7,563	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	7,502	人(H28.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	329.41	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.3	%
歳入総額	7,396,283	千円	得未負担比率	33.5	%
歳入総額	7,034,525	千円	市町村類型	H23 II-1 H24 II-1 H25 II-1	
実質収支	304,465	千円	(年度毎)	H26 II-1 H27 II-1	
標準財政規模	3,840,080	千円			
地方債残高	7,087,209	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**性質別歳出の分析概**

【人件費】類似団体平均が16,996円上回っており、新規採用職員の抑制による職員数の減などにより人件費の抑制に努める。  
 【維持補修費】各学校や地区公民館などの公共施設の老朽化に伴う修繕料が増加しているが、平成27年度は積雪量が少なかったため、全体的には前年度より16,786円減少している。  
 【扶助費】障がい者自立支援事業費や児童福祉費などの経費が増えているが、臨時福祉・子育て世帯臨時特例給付金の交付金額の減少により微減で推移している。  
 【補助費等】農地整備のための多面的機能支払交付金の増加や地方創生(独自)先行型交付金の皆増により、前年度より37,398円増加している。  
 【普通建設事業費】新規整備:平成27年度に起業支援施設を整備、更新整備:平成26年度より第一小学校改築事業を実施した。校舎建設の2年目となる平成27年度は事業費が減少することから96,491円減少している。  
 【災害復旧事業費】農地等災害復旧事業や林道等災害復旧事業の減少により、前年比▲9,039円。【公債費】大規模事業の償還終了により、着実に減少している。【繰出金】各特別会計への繰出金が年々増加していることから、経費の抑制を図っていく。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

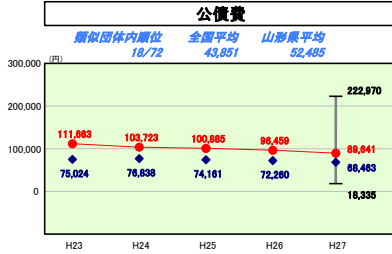
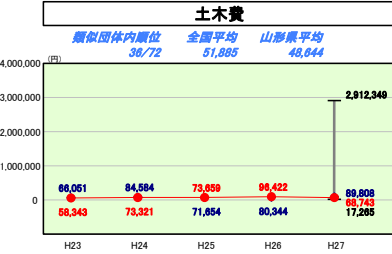
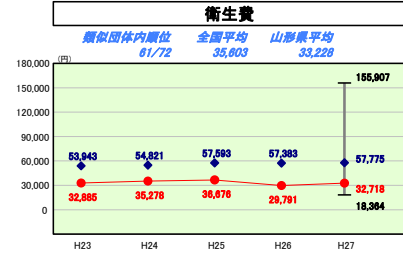
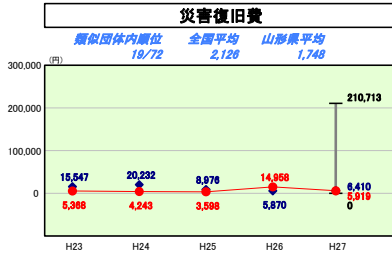
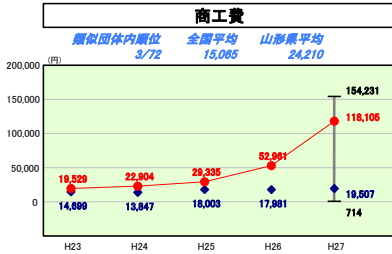
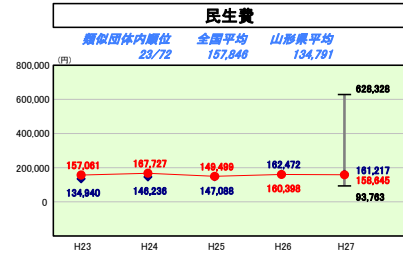
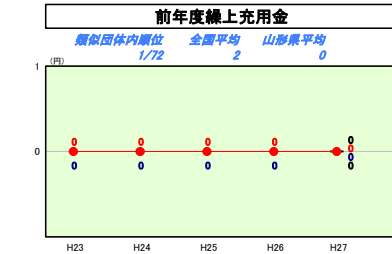
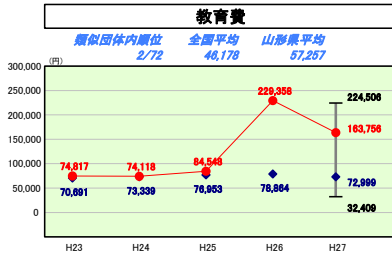
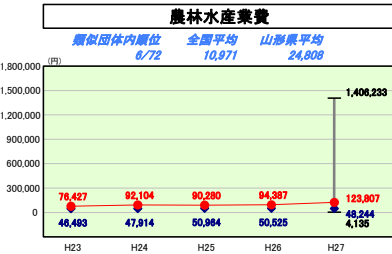
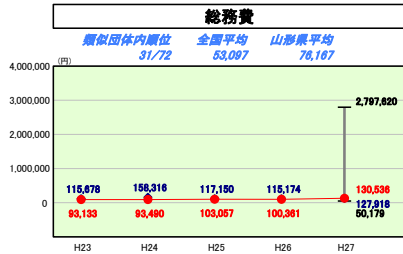
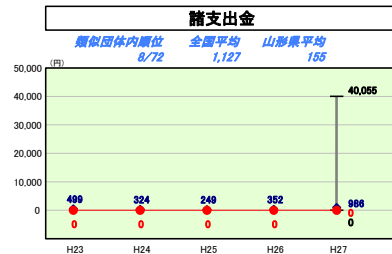
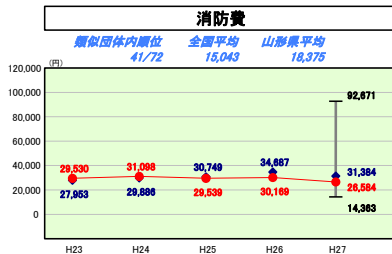
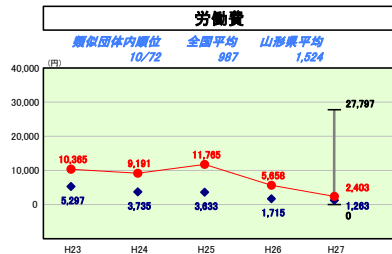
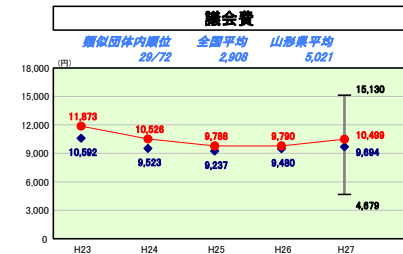
平成27年度

山形県飯豊町

人口	7,553	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	7,502	人(H28.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	329.41	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.3	%
歳入総額	7,396,283	千円	得赤字比率	33.5	%
歳出総額	7,034,525	千円	市町村類型	H23 II-1 H24 II-1 H25 II-1	
実収支	361,758	千円	(年度毎)	H26 II-1 H27 II-1	
標準財政規模	3,840,080	千円			
地方債残高	7,087,209	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析概**

【議会費】議員の補填(1名欠員分)などにより前年比+709円。 【総務費】地方創生(独自)先行型交付金の皆増やふるさと納税返戻品の増及び飯豊分校解体工事の皆減、衆議院議員選挙費の皆減などにより、前年比+30,175円。  
 【民生費】障がい者自立支援事業の増加や、緊急支援商品券発行事業(地域消費喚起・生活支援型)の皆増及びつばき保育園屋外運動場整備工事の皆減により、前年比▲1,753円。 【労働費】地域づくり事業の皆減により、前年比▲3,255円。 【農林水産業費】多面的機能支払交付金の増加や桜枝岐線林道施設整備事業の皆増により、前年比+29,420円。 【教育費】起業支援施設整備事業の皆増により、前年比+65,144円  
 【土木費】道路改良事業の増加や除雪等維持補修費及び除雪委託業務の減少により、前年比▲27,679円。 【消防費】耐震性貯水槽設置工事や軽積載車整備事業の皆減により、前年比▲3,585円。  
 【衛生費】水道会計補助金や置賜広域病院組合負担金の増加により、前年比+2,927円。  
 【公債費】大規模事業の償還終了により、前年比▲6,818円。 【災害復旧費】農地等災害復旧事業や林道等災害復旧事業の減少により、前年比▲9,039円。

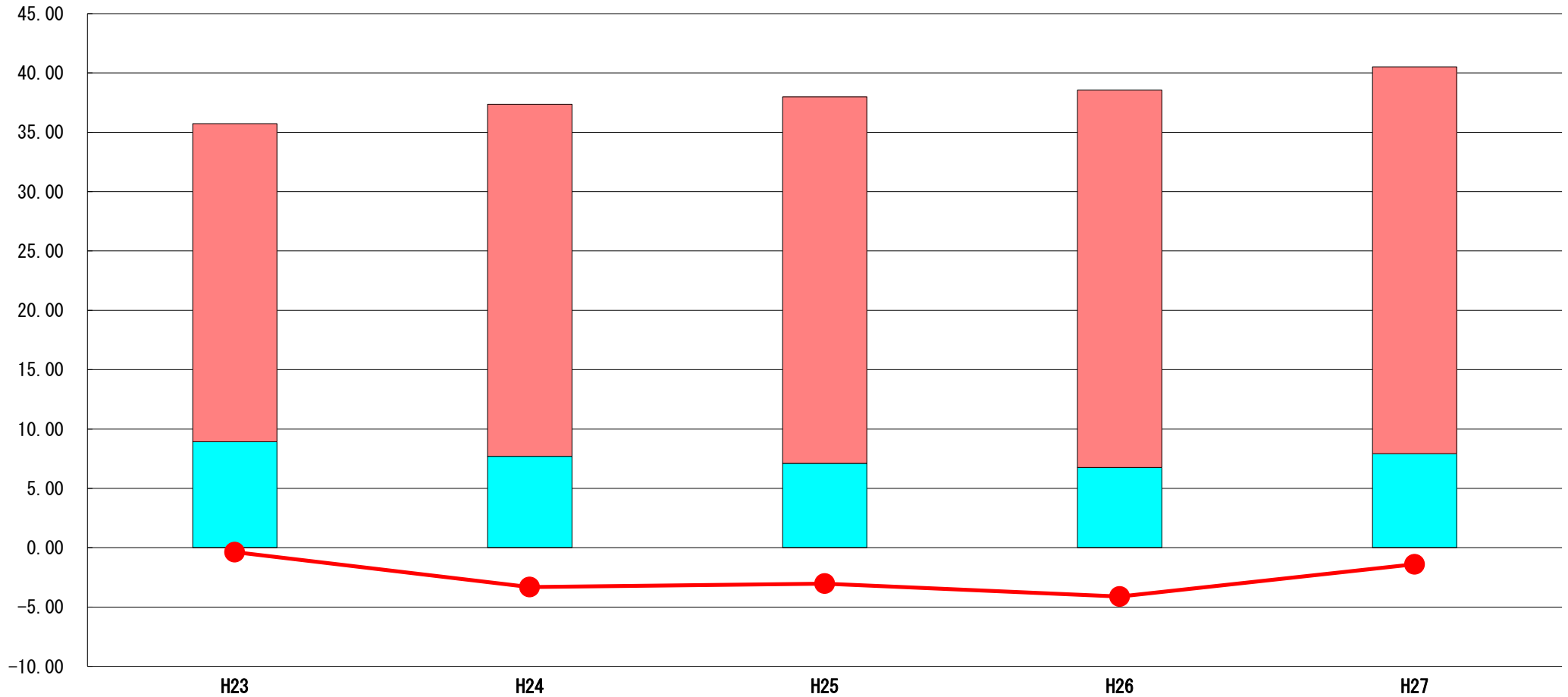


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成27年度

山形県飯豊町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H23	H24	H25	H26	H27
 財政調整基金残高		26.81	29.67	30.89	31.79	32.59
 実質収支額		8.92	7.69	7.10	6.76	7.93
 実質単年度収支		▲ 0.38	▲ 3.32	▲ 3.03	▲ 4.12	▲ 1.40

**分析欄**

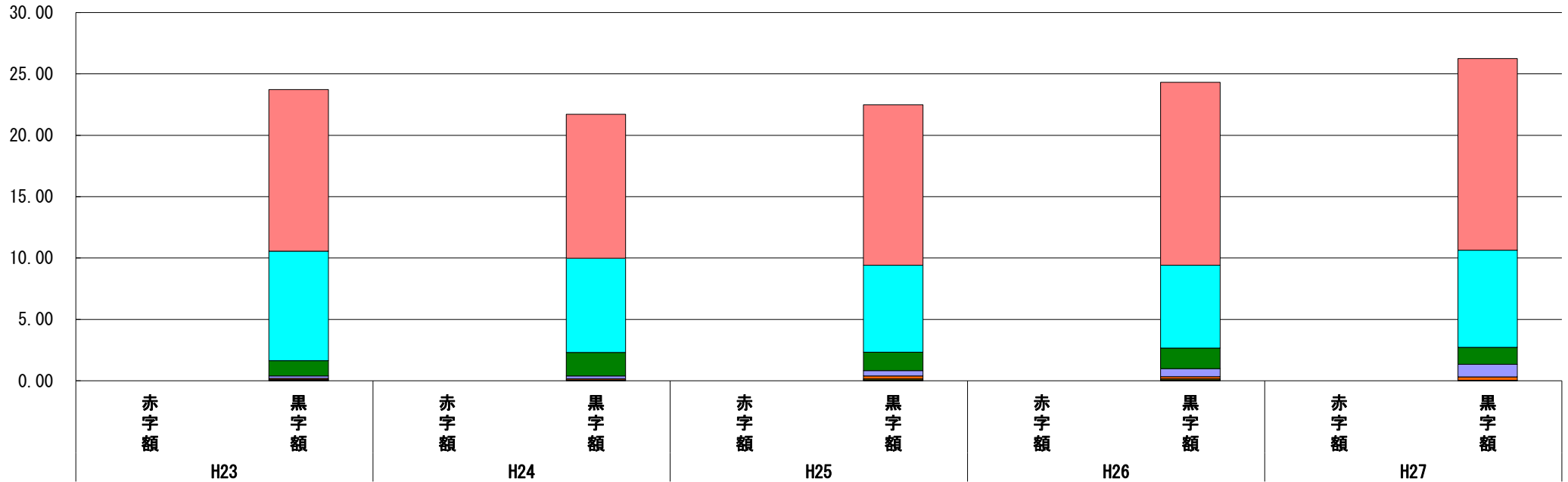
平成25年までは地域活性化に資する各種臨時交付金事業の創設や普通交付税の増額などを要因として、財政調整基金の取崩しを最小限に抑制することができたことなどから、財政状況は改善方向にある。  
 ただ、実質単年度収支が赤字で年々増加傾向にあることから、財源基盤が脆弱で地方交付税頼みの財政構造に変わりはないため、地方交付税の動向には特に注視していく必要がある。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成27年度

山形県飯豊町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H23	H24	H25	H26	H27
水道事業会計		13.17	11.72	13.05	14.90	15.60
一般会計		8.92	7.68	7.09	6.76	7.92
国民健康保険特別会計		1.24	1.92	1.50	1.67	1.38
介護保険特別会計		0.21	0.21	0.44	0.65	1.03
農業集落排水事業特別会計		0.09	0.11	0.23	0.19	0.27
生活排水個別処理事業特別会計		0.01	0.00	0.08	0.07	0.03
訪問看護特別会計		0.03	0.01	0.02	0.01	0.01
介護老人保健施設特別会計		0.05	0.05	0.05	0.06	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.01	0.01	0.01	0.01	0.00

## 分析欄

公営事業を含む全会計で赤字はないため連結赤字比率はない。  
 特に、水道事業会計においては、標準財政規模に対して大きな黒字となっている。これは、石綿セメント管更新工事が終了した17年度以降、大規模事業を実施していないこと、また、補償金免除繰上償還により借入残高が減少したことが要因となっている。  
 また、一般会計については、地方交付税や町税などの一般財源が減少しており、今後はさらに厳しい財政運営が想定される。  
 加えて、多くの特別会計では一般会計から多額の繰入れを行っている現状であるため、各会計の一層の自助努力はもちろんであるが、使用料金の値上げ等を行う必要がある。

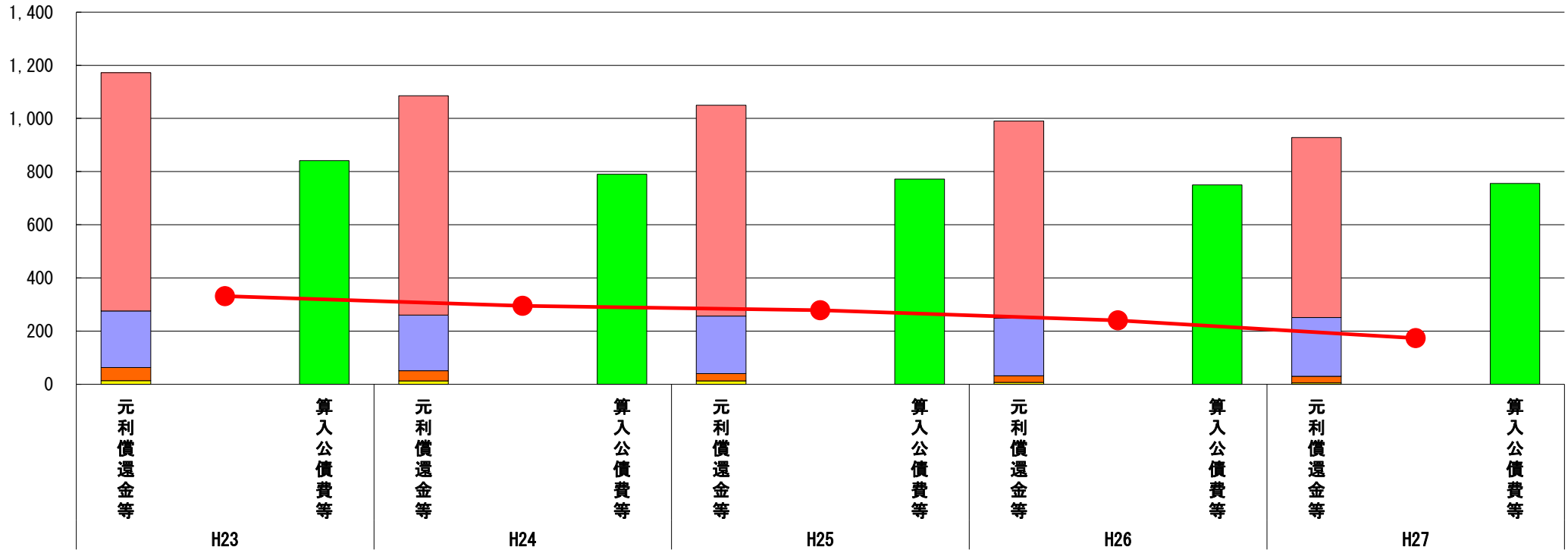
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

山形県飯豊町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等(A)	元利償還金		896	825	794	742	677
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		213	209	216	216	221
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		50	39	28	25	25
	債務負担行為に基づく支出額		13	12	12	7	5
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		841	790	772	750	755
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		331	295	278	240	173

## 分析欄

平成19年度が元利償還金のピークだったが、平成20年度以降は減少傾向にある。実質公債費比率は平成20年度に18.0%を切り、平成27年度は7.3%となるなど着実に改善している。  
今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

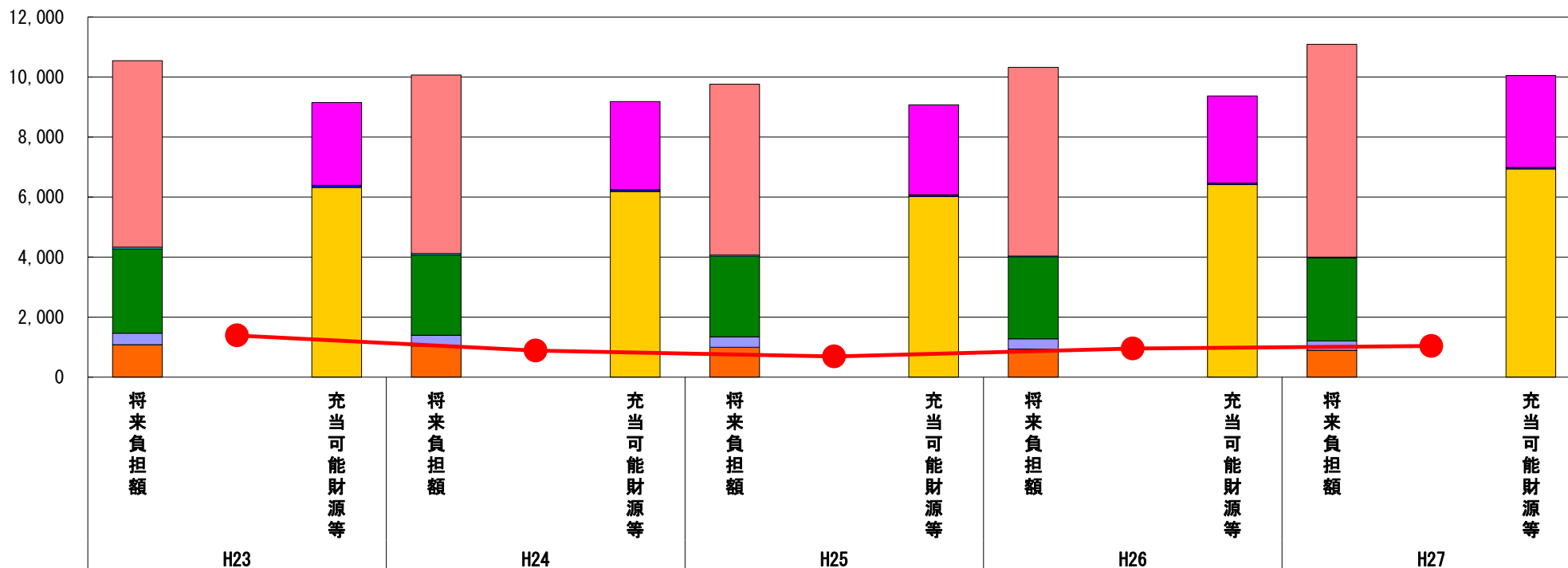
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

山形県飯豊町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		6,210	5,951	5,699	6,288	7,087
	債務負担行為に基づく支出予定額		55	45	35	28	23
	公営企業債等繰入見込額		2,811	2,678	2,679	2,729	2,772
	組合等負担等見込額		378	356	355	333	312
	退職手当負担見込額		1,085	1,039	996	942	895
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,755	2,936	2,999	2,898	3,067
	充当可能特定歳入		68	62	53	50	49
	基準財政需要額算入見込額		6,325	6,185	6,020	6,421	6,937
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1,392	886	692	952	1,037

## 分析欄

将来負担額については、大規模事業である第一小学校改築事業の校舎整備を開始した平成26年度から大きく増加し始め、平成27年度には山形大学蓄電デバイス研究開発センター飯豊拠点の整備の実施により、地方債の現在高が大きく増加し11,000百万円を上回った。一方、充当可能財源等についてみると、財政調整基金をはじめとする各種基金の積み立てなどにより、充当可能基金は微増で推移している。今後については、第一小学校改築事業が平成28年度に完了することから、地方債現在高の増加や基金の取崩しなどにより、将来負担比率の上昇を想定している。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

平成27年度

山形県飯豊町

人口	7,553	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	7,502	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	329.41	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.3	%
歳入総額	7,396,263	千円	将来負担比率	33.5	%
歳出総額	7,034,525	千円	市町村類型	H23 II-1 H24 II-1 H25 II-1	
実質収支	304,465	千円	(年度毎)	H26 II-1 H27 II-1	
標準財政規模	3,840,080	千円			
地方債現在高	7,087,209	千円			

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

- ※ 有形固定資産減価償却率は平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、債務償還可能年数は平成28年10月1日時点で統一的な基準による財務書類を作成済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

### 有形固定資産減価償却率

有形固定資産減価償却率 [53.1%]

類似団体内順位 6/11 全国平均 55.6 山形県平均 52.8

**有形固定資産減価償却率の分析欄**  
類似団体や全国平均と比較して低くなっているものの、供用開始年度が古く、年数を経過している施設も多くあることから、将来の施設更新の必要性や今後の修繕費の発生見込みを推察し、今後の修繕計画策定の参考としていく。  
健全な財政運営を持続させるために、効果的かつ効率的、さらに想定される今後の財政状況に対応できるように、計画的に実施できるように努めていく。

### 債務償還可能年数

債務償還可能年数 [-]

類似団体内順位 -/- 全国平均 22.9 山形県平均 0.0

**債務償還可能年数の分析欄**

財務書類作成中・未作成

### 将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

将来負担比率と有形固定資産減価償却率の推移

**分析欄**  
将来負担比率は平成25年度まで低下傾向で推移してきたものの、類似団体と比較すると高くなっている。また、平成26年度から大規模事業に着手し、地方債発行額が増大したことにより、比率は上昇していることが想定される。一方、有形固定資産減価償却率は類似団体と比較して若干低くなっているが、今後、元利償還金が増大するため、施設の修繕や長寿命化に向けて十分な費用をかけられないことが想定される。老朽化対策の優先順位をつけて、順位を踏まえたメリハリのある予算編成につなげていく。

(参考)

		H23	H24	H25	H26	H27
当該団体値	将来負担比率					33.5
	有形固定資産減価償却率					53.1
類似団体内平均値	将来負担比率					0.8
	有形固定資産減価償却率					56.4

### 将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析

将来負担比率と実質公債費比率の推移

**分析欄**  
類似団体と比較して、将来負担比率は高く、実質公債費比率は低い状況にある。平成25年度までは地方債の発行を抑制し、地方債の償還も順調に行ってきたことから減少傾向で推移してきた。ただ、平成26年度から大規模事業に取り組んでおり、平成29年度まで地方債の新規発行額が増加すると見込んでいる。元利償還金の一部については、基準財政需要額に算入されるとはいえ、平成30年度から元利償還金が増加に転じる見込みのため、将来負担比率及び実質公債費比率が上昇していくことが想定されている。このことから、これまで以上に公債費の適正化に取り組んでいく必要がある。

(参考)

		H23	H24	H25	H26	H27
当該団体値	将来負担比率	44.4	28.2	21.8	30.7	33.5
	実質公債費比率	11.6	10.4	9.5	8.6	7.3
類似団体内平均値	将来負担比率	27.1	18.7	12.9	22.6	0.8
	実質公債費比率	11.9	10.7	10.0	9.5	8.1

# (12)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

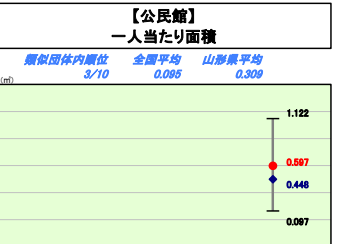
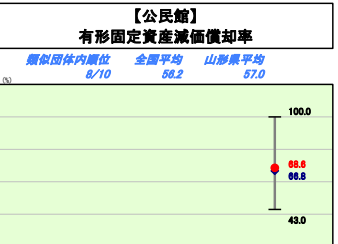
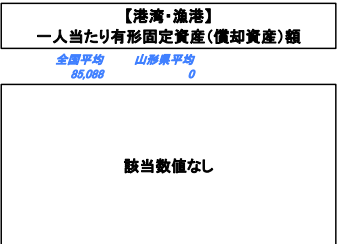
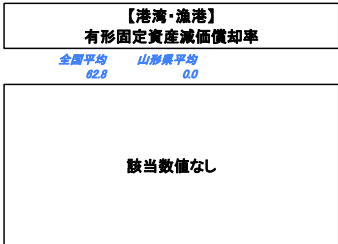
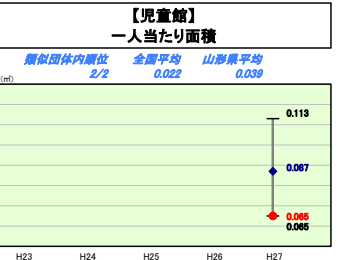
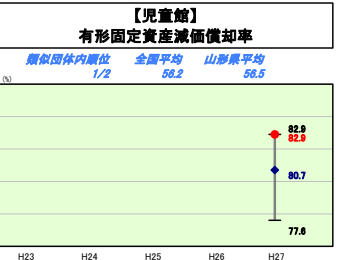
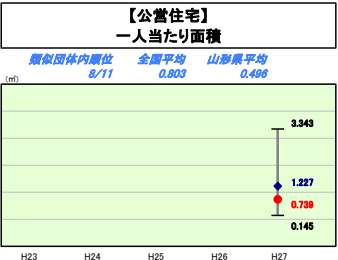
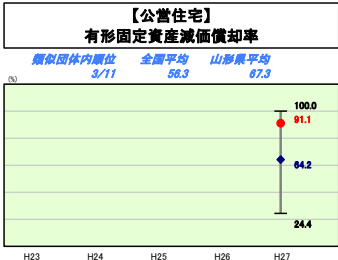
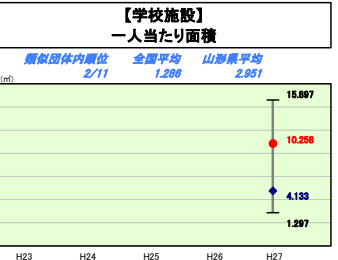
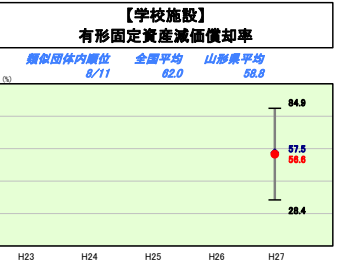
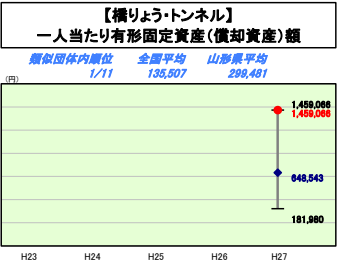
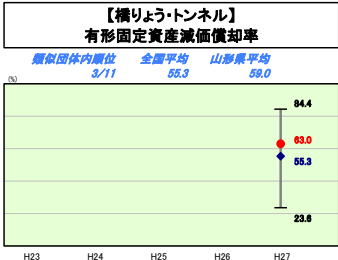
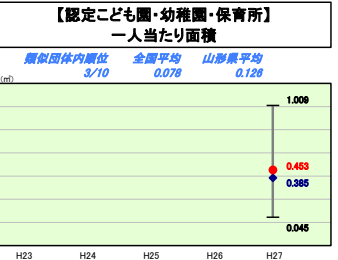
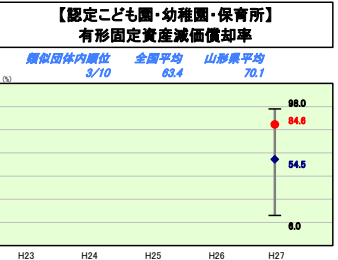
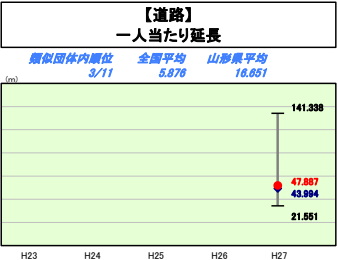
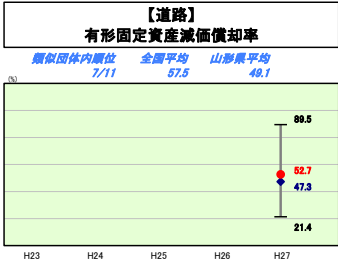
平成27年度

山形県飯豊町

人口	7,553	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	7,502	人(H28.1.1現在)	道庁実質赤字比率	-	%
面積	329.41	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.3	%
歳入総額	7,396,263	千円	将来負担比率	33.5	%
歳出総額	7,034,626	千円	市町村類型	H23 II-1 H24 II-1 H25 II-1	
歳入取支	304,465	千円	(年度毎)	H26 II-1 H27 II-1	
標準財政規模	3,840,080	千円			
地方債現在高	7,087,209	千円			



※ 平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。  
 ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



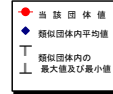
**施設情報の分析**  
 類似団体と比較すると、幼児・保育施設や橋りょう、公営住宅で有形固定資産減価償却費が高くなっており、施設の老朽化による効率性の低下や修繕コストの増加が懸念される。各施設の改修時期も近づいていることも想定されるので、適切に財政計画に反映していく。

# (12)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

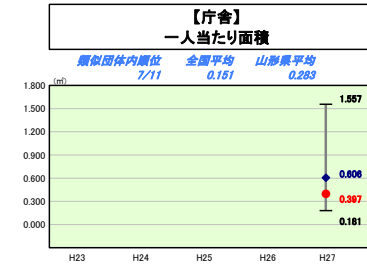
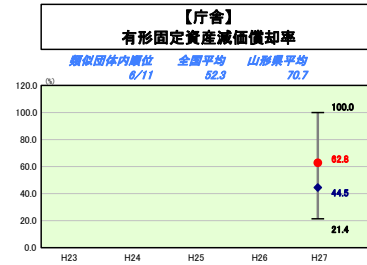
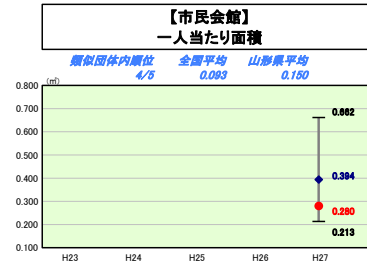
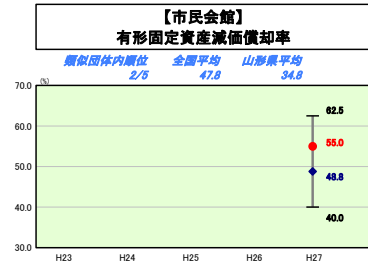
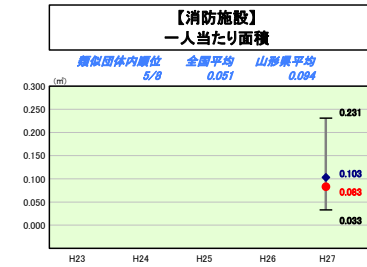
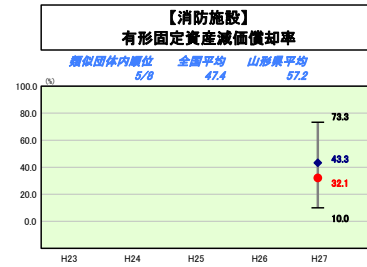
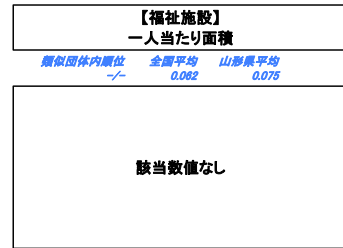
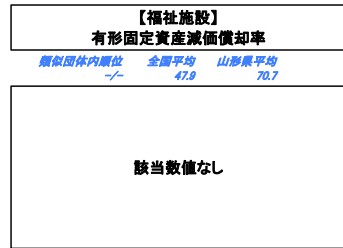
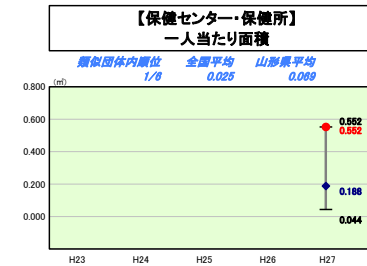
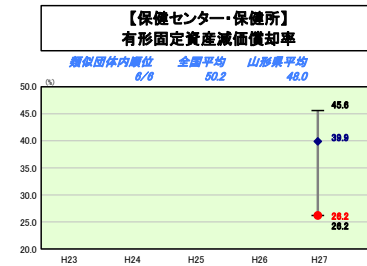
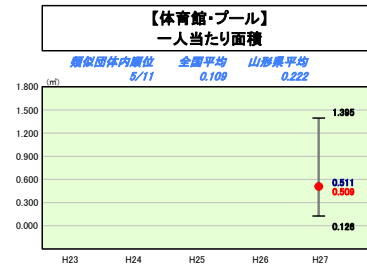
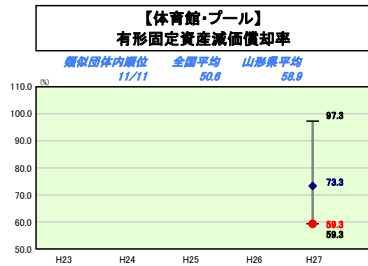
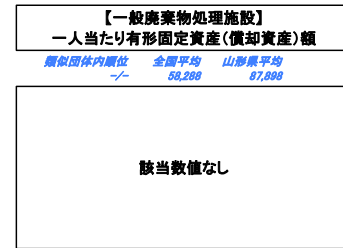
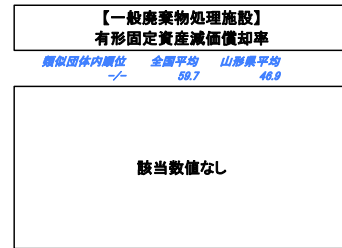
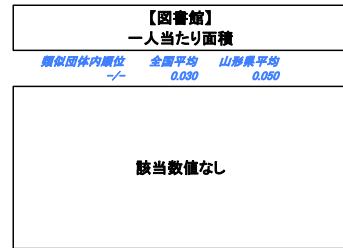
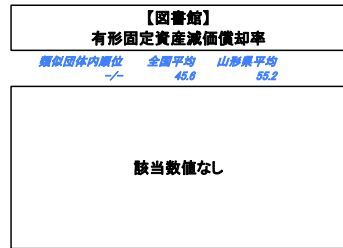
平成27年度

山形県飯豊町

人口	7,553	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	7,502	人(H28.1.1現在)	道庁実質赤字比率	-	%
面積	329.41	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.3	%
歳入総額	7,396,263	千円	将来負担比率	33.5	%
歳出総額	7,034,626	千円	市町村編製	H23 II-1 H24 II-1 H25 II-1	
歳入取支	304,465	千円	(年度毎)	H26 II-1 H27 II-1	
標準財政規模	3,840,080	千円			
地方債残存高	7,087,209	千円			



※ 平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。  
 ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**施設情報の分析**  
 類似団体と比較すると、庁舎や町民総合センターで有形固定資産減価償却費が高くなっており、施設の老朽化による効率性の低下や修繕コストの増加が懸念される。各施設の改修時期も近づいていることも想定されるので、適切に財政計画に反映し、